CO2貯留適地の調査事業

令和2年度概算要求額　5.5億円（5.5億円）

産業技術環境局　地球環境対策室
03-3501-7830

事業の内容

事業目的・概要

- 二酸化炭素回収・貯留(CCS:Carbon dioxide Capture and Storage)技術は、CO2を大量回収・貯留する抜本的な方策として、IEA報告書において、世界の累積CO2削減量の14%を担うことが期待されています。
- パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略（令和元年６月閣議決定）で定める2050年までに80%の温室効果ガス削減の実現において、CCUSによる貢献を目指します。
- 国内には約1,461億トンのCO2貯留ポテンシャルがあると推定されていますが、あくまでも基礎データに基づく推定であり、個々の候補地点の貯留ポテンシャルを特定するには不十分で大きな不確実性があります。このため、大きな貯留ポテンシャルを有すると期待される貯留地点において、海底下地質の詳細調査を実施し、貯留性能、遮蔽性能、地質構造の安定性、海洋環境保全の観点から、貯留層のポテンシャル評価を実施します。
- 本事業は、経済産業省と環境省の連携事業であり、両省共同で事業を実施します。

成果目標

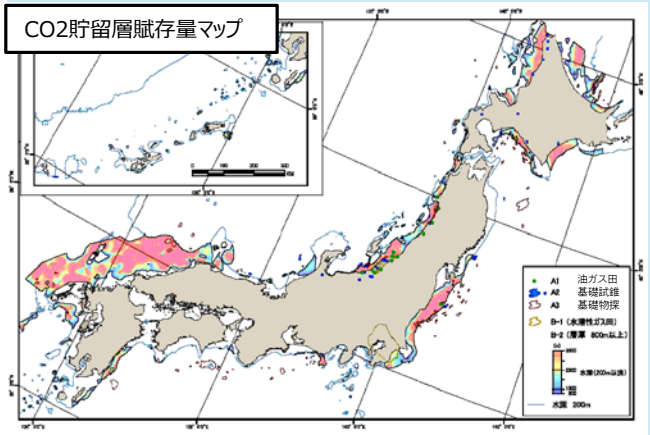
- 本事業は、平成26年度から開始し、令和3年度頃までにCO2を貯留可能な地点を３か所選定することを目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）

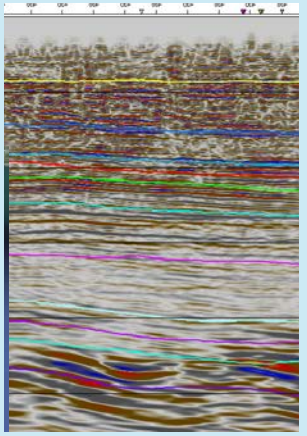
国 → 委託 → 民間企業等

事業イメージ

海底下地層の弾性波探査



全国貯留層賦存量調査（2005, RITE）



弾性波探査による
地層断面図

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
弾性波探査	←	—	—	—	—	→		
探査データ解析		←	—	—	—	—	→	
挙動予測シミュレーション					←	—	—	→